

# 江別市政に求められている3つの力



## 堀直人(ほり・なおと)プロフィール

1981年3月22日生まれ、37歳(2019年1月11日現在)。大麻幼稚園卒園、江別市立豊幌小学校卒業、江別市立江陽中学校卒業、北海道立大麻高等学校卒業後、道都大学美術学部を中退、デザイン事務所に就職。広告、マーケティング、商品企画、ブランド形成などの業務に従事。2010年4月、NPO法人北海道冒険芸術出版(江別市)を設立。その後、日本編集株式会社代表取締役、札幌市都市景観アドバイザー(平成25年度・平成26年度)などを経て、2015年4月26日執行の江別市議会議員選挙に立候補、初当選。趣味は、古い街並みを活かしたまちづくりの現場に赴くこと。

# 地域活性化の実務経験を市政に！



## ◎ 財源確保

財政の危機を脱するためには、歳出を削減も大事ですが、歳入を増強していくことが重要です。そのためわたしは、税収とは異なり、全額歳入になる寄付の受入拡大。とりわけ、ふるさと納税の推進をしていきます。現在の江別市のふるさと納税は、近隣市町村と比べて低调に推移をしております。ふるさと納税のルールが定められたこともあり、これからのふるさと納税は、アイデアが勝負です。具体的には、ネットショップなどの販売ノウハウを有した民間事業者への歩合制業務委託、クラウドファンディング型ふるさと納税、品数充実のための返礼品公募によるロングテール戦略、市民の方々の協力による親戚知人へのPR、観光客に対する積極的なPRなどの手法で、ふるさと納税を倍増させます。

## ◎ マーケティング

これから時代、行政にもマーケティングの発想が求められます。マーケティングとは、相手目線で実施するサービスの提供であり、情報発信や観光やふるさと納税など市外に向けてのPRはもちろんのこと、行政全般に必要となる視点です。マーケティング部署の新設と担当幹部職員の民間採用などによって、江別市の魅力向上と、市民のみなさまのニーズに即したまちづくりを推進していきます。

# NPOや議員活動で培った技術を市政に！



## ◎市民との信頼関係

時代の困難に立ち向かっていくためには、チーム江別として一丸になっていく必要があります。そのとき、市民も行政も同じ船に乗り合わせた仲間であり、職員もこの船の一員なんだという信頼関係が不可欠です。その信頼関係の源となる相互理解を形成するために、市長が主体的に対話集会を企画し、市民と行政の距離を近くしていきます。また、職員の人間性も含めた市役所についての積極的な情報共有が欠かせないアプローチであり、課題解決型の広報広聴を実現していくとともに、市長みずからが率先垂範で情報発信をし、身近に感じられる行政を構築していきます。

## ◎市役所づくり

どんなに優れた政策も、具体的なカタチにするのは職員です。職員の働く環境を改善し、職員ひとり一人を生かす経営と制度整備によって、市役所の能力を最大化し、市民の方々に対する行政サービスを向上させる。この視点が、市政運営の基礎的な取り組みと考えます。市役所がよくなった。そう市民の方々が実感できる市役所づくりが、わたしの最重要テーマです。そのため、職員の責任はトップの責任であるという姿勢を明確にし、職員の使命感に応えられる職場をつくり、市民のみなさまに評価していただける市役所をつくることに邁進してまいります。

# 37歳の創造性と若い力を市政に！



## ◎行財政改革

人口減少時代に対応していくためには、行政の事業や公共施設に対して、本当に必要なものはなんなのかという判断が求められます。予算編成過程の公開や、市民を中心とした行政を精査する仕組みづくりを通し、市役所の仕事の棚卸しを行ない、財政という家計簿の透明化していくことで、行財政改革について不退転の覚悟で臨みます。



机上に配布しております  
活動報告書も  
併せてご覧くださいませ！

### ◎ウェブサイト

<http://ebetsu2.net>